

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：アミー保育園三ツ沢園	種別：認可保育所
代表者氏名：村上 香苗	定員（利用人数）：60名（65名）
所在地：〒240-0061 横浜市保土ヶ谷区峰沢町147	
TEL：045-444-9119	ホームページ： https://a-m-i-corp.com/facilities/mitsuzawa.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 アミー	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：7名
専門職員	園長 1 名 主任 1 名
	栄養士 2 名 調理師 2 名
	保育士 12 名 保育補助 1 名
	事務員 1 名
施設・設備の概要	保育室： 4 室 トイレ： 2 ヶ所
	調乳室： 1 ヶ所 調理室： 1 ヶ所
	事務室： 1 室 園庭： あり
	駐車場・駐輪場： あり

③ 理念・基本方針

理念：「健全なこどもは健全な環境が創造する」

保育方針：「触れる」・「声を掛ける」・「抱きしめる」を行う優しい保育

- ・安定した生活リズムを確立し自我の芽生えを助け、育むこと
- ・心も身体もいっぱい使って遊ぶ楽しさの中で自立心・社会性・協調性を育むこと
- ・いろいろな分野の活動を通じて、見て・聞いて・触れて・感じて・自然な形で興味や好奇心を育むこと

以上3つをモットーとして、それぞれの子どもの生きる力を育て、豊かな人間性の基礎づくりに努める。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

施設事業の特徴として、感性を豊かにしていく事を重視した取り組みをおこなっています。

感性とは、物事を一方向だけではなく多方面から見る事ができる力なので、多方面からの視点を養う事で、人の痛みがわかり、人に対して優しく接することができると思っています。まさに「思いやり」の心を育むことができます。感性を育む取組として、アートセラピーや紙芝居口演・フォニックスなどを保育に取り入れています。また、地域の方の協力のもと畑での野菜収穫体験もおこなっています。園舎の目の前に畑があるという良い環境に恵まれているので、自然とどんな野菜が育っているのかなど興味を持ち、食育にも繋がっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年12月20日（契約日）～ 令和7年3月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)外部講師によるプログラムの充実

外部講師によるプログラムを取り入れています。「アートセラピー」では一斉の制作活動ではなく、子どもたちの創造性に富む制作を実践し、アート作品に取り組む経験を提供しています。2歳児から5歳児の作品を展示する「小作品展」を開催して、保護者が参加する機会を作っています。また、英語教育としてフォニックスを取り入れ、子どもたちは楽しみながら「多様な文化」に触れることができ、保護者からの評価を得ています。

2)安心安全な食材と食育の推進

食育に力を入れています。毎月クッキングの活動を行い、子どもたちが楽しみながら食事が好きになるような経験を提供しています。活動を楽しむだけでなく、「たのしく おいしく 食べる」という食育目標を掲げ、栄養士が中心になって食に対して意欲的な子どもの姿を目指しています。「食を営む力」の基礎を培うため食材にもこだわり、給食専門の業者と提携をして安全性にこだわった食材を使用しています。

3)地域交流と子育て支援への取組が期待されます

地域的な交流や社会貢献として園の専門性を活かした子育て支援を積極的に展開し、地域と連携しながら保育園から小学校への連続した子育てを行うことが望まれます。現在、園では地域交流の取組について検討し、次年度から本格的に進めて行く予定としていますが、園の専門性が活かせる活動に連続性をもたせ、地域の保育園として地域住民との交流関係が深まることを期待します。

4)園の課題を改善する仕組みづくりが期待されます

職員の自己評価や園の自己評価を定期的実施し園の現状を把握していますが、総合的な評価の分析から課題・改善までのPDCAサイクルが正しく機能していません。抽出した評価結果から現状の園環境に必要な改善策を具体的に、計画的に、連続性を持たせた取組として、年度の事業計画に明文化し、職員の理解と保護者の理解・協力と共に進めていく仕組みづくりが望まれます。現在、組織体制の改善に取組中としている園ですが、ひとつずつ課題改善を行いながら確実に質の向上につながる組織体制の整備が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

アミー保育園三ツ沢園が運営を始めて10年が経ちました。今回の受審をすることで、これまでの振り返りを行うと共に現状の課題点を見つける良い機会となりました。

現状の課題点に関しては、アドバイスや改善策などを頂きながら考え方の幅を広げ、保育の質の向上や社会的保育所の役割を果たせるように今後取り組んでいきたいと思っています。

また、これまで築き上げてきた良い点は自信を持って持続していけるように職員一同で協力して、子どもたちを中心に保護者の皆様・地域の皆様にとってもホッと安心できる保育園を目指して努めて参りたいと思います。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり